

2016 年度目録委員会記録 No.3

第 3 回委員会

日時:2016 年 6 月 11 日(土)14 時～17 時

場所:日本図書館協会

出席:渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、村上、横山

<事務局>磯部

[配布資料]

1. 書誌調整連絡会議(平成 26、27 年度)でいただいた新 NCR 条文案に対する指摘について(2 ページ-A4、津田委員)
2. キャリアに関する注記(8 ページ-A4、渡邊委員長)
3. 出版表示等に関する注記(11 ページ-A4、横山委員)
4. 版表示に関する注記(3 ページ-A4、横山委員)
5. タイトル、逐次刊行物の順序表示に関する注記(8 ページ-A4、野美山委員)
6. 責任表示に関する注記(3 ページ-A4、木下委員)
7. シリーズ表示に関する注記(2 ページ-A4、木下委員)
8. 刊行頻度、識別の基盤、識別子に関する注記(5 ページ-A4、河野委員)
9. 表現形に関する注記(3 ページ-A4、村上委員)
10. 用語解説(暫定版)に関するメモ(2016.6)(1 ページ-A4、渡邊委員長)
11. 用語解説候補リスト(総説・属性総則・体現形通則)(2016.6)(4 ページ-A4、渡邊委員長)
12. 2016 年度第 2 回目録委員会記録(案)(5 ページ-A4)
13. 2016 年度第 1 回目録委員会記録(4 ページ-A4)

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
 - ・ 2016 年度第 2 回目録委員会記録(資料 12)について確認した。
2. 書誌調整連絡会議における指摘事項について
 - ・ 資料 1 をもとに、典拠形アクセス・ポイント条文案に対する指摘事項(平成 26 年度書誌調整連絡会議)と第 2 章「体現形」(記述の規定)条文案に対する指摘事項(平成 27 年度書誌調整連絡会議)について、確認した。

[検討事項]

1. 注記について
 - 資料 2～9 をもとに、検討を行い、作業方針を確認した。

- ・ 「キャリアに関する注記」「出版表示に関する注記」を元に、各注記の条文案で、表現・構成の統一を図ることとする。
- ・ 「記録の範囲」では、記録の方法の下位条項となるものを列挙し、その条項番号への参照をつける。
- ・ 「記録の方法」の下位条項は、RDA の構成に無理には合わせず、具体的な条文を書く必要があるものは独立させる。その際、下位条項の順番は、「対象資料を限定しないもの」「初期印刷資料、和古書・漢籍など特定の資料群に限定するもの」「その他の詳細」「変化に関するもの」とする。
- ・ 「体现形に関する注記」「キャリアに関する注記」「表現形に関する注記」について、「種類」の条項でエレメント・サブタイプを列挙しているが、このエレメント・サブタイプにあてはまらないもの、もしくは、エレメント・サブタイプをまたいだ包括的な注記を記録したい場合があるため、「記録の方法」を設け、「種類」の内容もその中で扱うことを検討する。
- ・ 「キャリアに関する注記」は「体现形に関する注記」の下位とはせず、#2.42 を割り当てる。
- ・ 版に関する責任表示の注記は、版の注記とするのか、責任表示の注記とするのかを検討する必要がある。
- ・ 「識別子に関する注記」が、2016 年 4 月のアップデートで RDA に新たに加わった。識別子の条文本体にも「～を注記せよ」という一文が加わったので、そちらも修正する必要がある。

2. 用語解説について

資料 10～11 をもとに、検討を行った。

- ・ 全体草案の公開時までには用語解説の実作成が必要だが、時間的に草案本体と同等レベルのものを作成することは不可能であるため、「暫定版」であることを明記し、最低限の重要語のみを掲載したものを用意する。
- ・ 「暫定版」には、FRBR の実体名、エレメントの名称、表現種別・機器種別、刊行方式の語彙リストの用語はすべて含み、あとは必要と思われるもののみを選んで掲載するイメージ。

次回以降の委員会の予定

7 月 9 日(土)

以上